

平成 29 年 10 月 3 日

関係自治体 様

富士急行株式会社

御殿場～上野間の運行再編案について

1 目的

慢性的な赤字経営が続く標記区間を運行するバスについて、利用実態を踏まえて一部ダイヤを幹線系統に統合させ、運行の効率化を図るもの。

2 改善案

別紙のとおり

※「御殿場高校前」～「横道」間が路線廃止となる見込

3 経費削減効果（見込）

約 10 百万円

4 実施スケジュール

○平成 29 年 10 月～平成 30 年 1 月

静岡県生活交通確保対策協議会における「退出意向」に係る協議を実施

○平成 30 年 4 月

新計画にて運行スタート

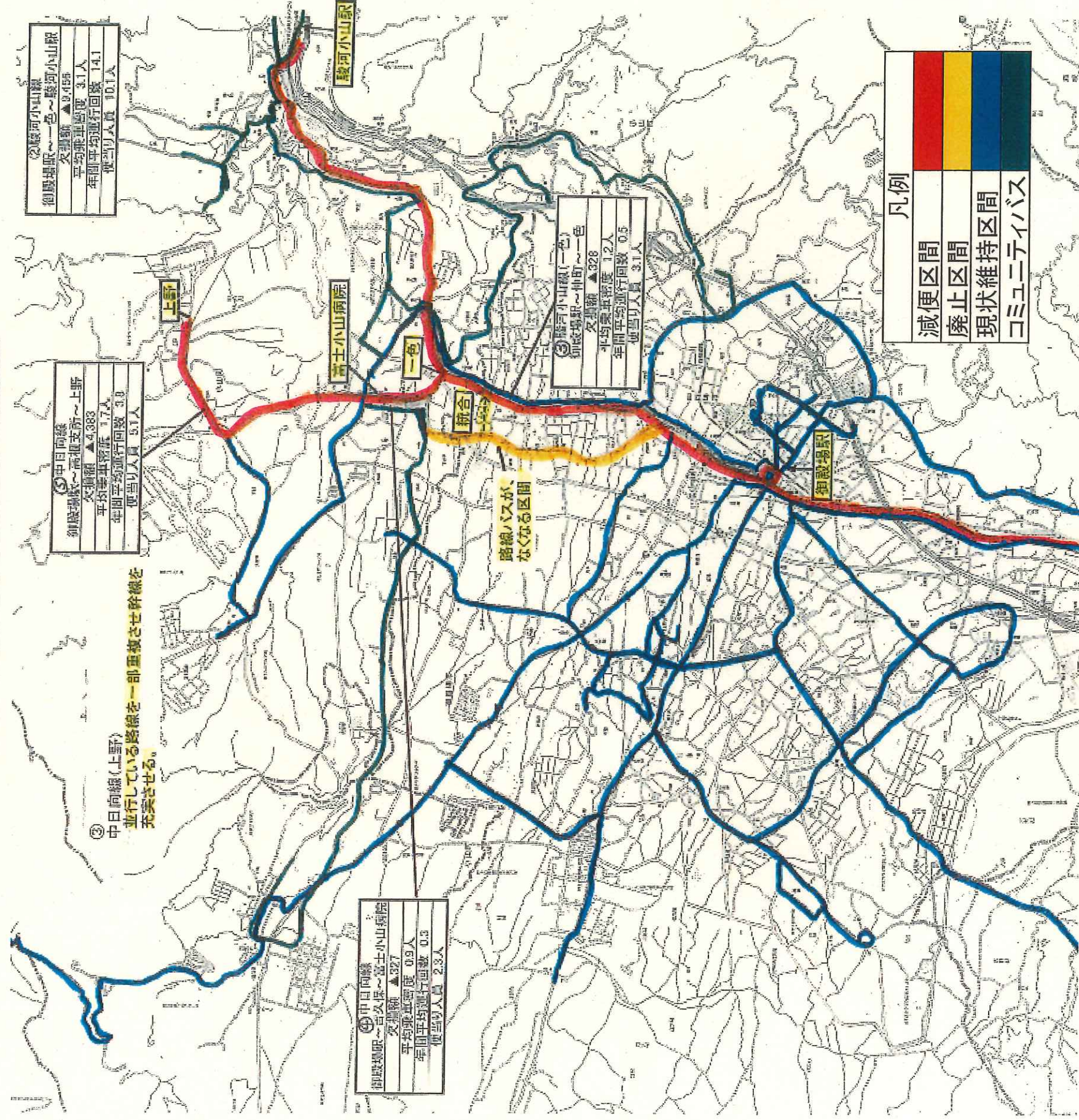
以 上

平成28年度 御殿場～小山間 収支状況及び運行回数

路 線	利用者数 (人)	運行経費 (A)	運賃収入 (B)	欠損額 (B-A)	補 助 額 (C)				事業者負担 (補助金受給後) (A+C)	1日運行回数	
					国 補助	県 補助	御殿場市 補助	小山町 補助		平日	現行 変更後
御殿場駅～駿河小山線(幹線)	104,414	44,961	23,042	△ 21,919	5,477	5,477	0	0	△ 10,965	平日 16.0回	13.0回
御殿場駅 ～ 一色線	1,110	703	204	△ 499			124	23	△ 352	平日 0.5回	廃止
御殿場駅 ～ 富士小山病院線	530	621	114	△ 507			114	45	△ 348	平日 0.5回	
御殿場駅 ～ 上野線	14,011	10,709	3,215	△ 7,494			1,120	1,631	△ 4,743	平日 5.0回	4.0回
										土休日 0.0回	変更なし

※事業者キロ当り経費
※御殿場市:印野地区+3百万円を除く
上限8百万円を欠損額割合で按分した額

平成30年度 御殿場～小山間の運行再編(案)



再編路線	H28欠損額 (補助金受給後)	改善方針	1日運行回数		摘要
			現行	変更後	
No.2 御殿場駅～駿河小山駅線 (国+県補助/地域間幹線バス)	△ 9,456	「減便」及び、赤字系統を幹線バス (No.2)に統合し、経営効率を図る。	平日 16.0回	13.0回	統合する赤字系統(No.3、No.4) と重複するダイヤや含めて「減便」。
No.3 御殿場駅～一色線 (御殿場市+小山町補助)	△ 328		土休日 10.5回	変更なし	
No.4 御殿場駅～富士小山病院線 (御殿場市+小山町補助)	△ 327		平日 0.5回	廃止	運行が重複するためNo.2へ「統合」。
No.5 御殿場駅～上野線 (御殿場市+小山町補助)	△ 4,383		土休日 0.5回		運行が重複するためNo.2へ「統合」。
			平日 5.0回	4.0回	御殿場高校前～横道間 約3kmが路線退出となる。
			土休日 0.0回	変更なし	